

検証に係る検討状況

木曽川水系連絡導水路事業の概要

○実施箇所

【上流施設】取水口：岐阜県揖斐郡揖斐川町（揖斐川）
放水口：岐阜県岐阜市（長良川）、
岐阜県加茂郡坂祝町（木曽川）

【下流施設】岐阜県羽島市、海津市（長良川・木曽川）

○目的

1. 流水の正常な機能の維持（異常渇水時の緊急水の補給）
木曽川水系の異常渇水時に、徳山ダムの渇水対策容量のうち4,000万 m^3 の水を木曽川及び長良川に導水し、河川環境の改善を行う。
2. 新規利水の供給
徳山ダムで確保される愛知県及び名古屋市の都市用水を最大毎秒4 m^3 導水し、木曽川において取水を可能にする。

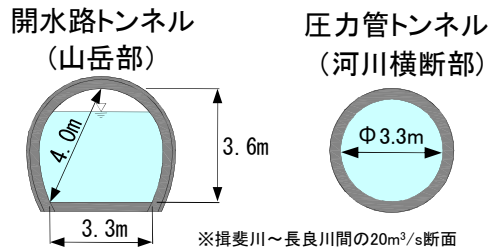
○事業期間：平成18年度～※

※当分の間、事業を継続しつつ、引き続きダム事業の検証を進め、その結果を踏まえて速やかに必要な対応を行う。

○全体事業費 約890億円

○諸元

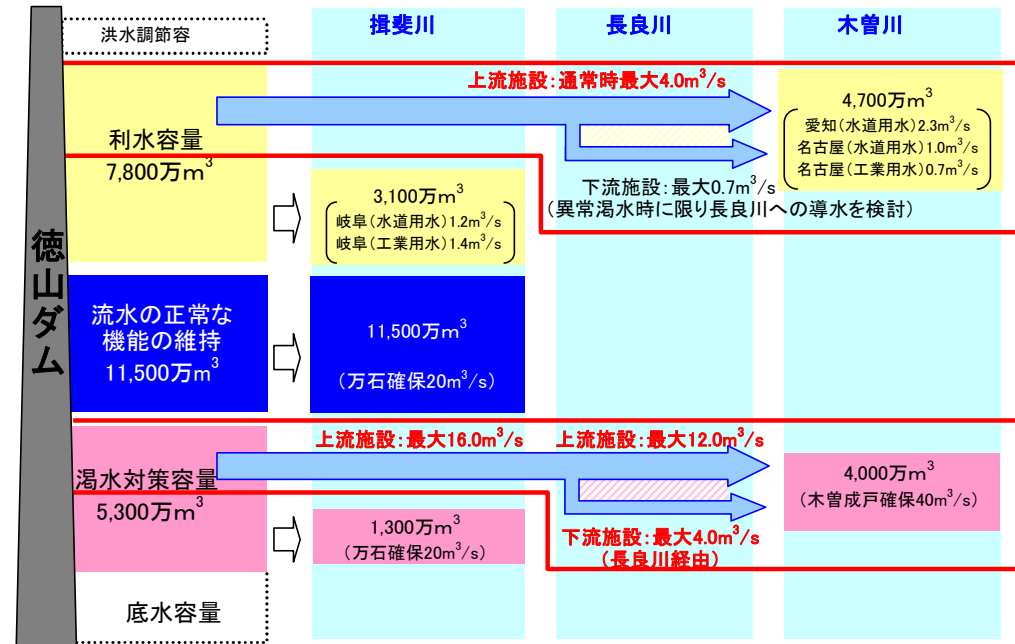
上流施設：延長 約43km
取水口、トンネル、サイホン、放水口等
下流施設：延長 約1km
取水口、パイプライン、放水口等



上流施設標準断面図

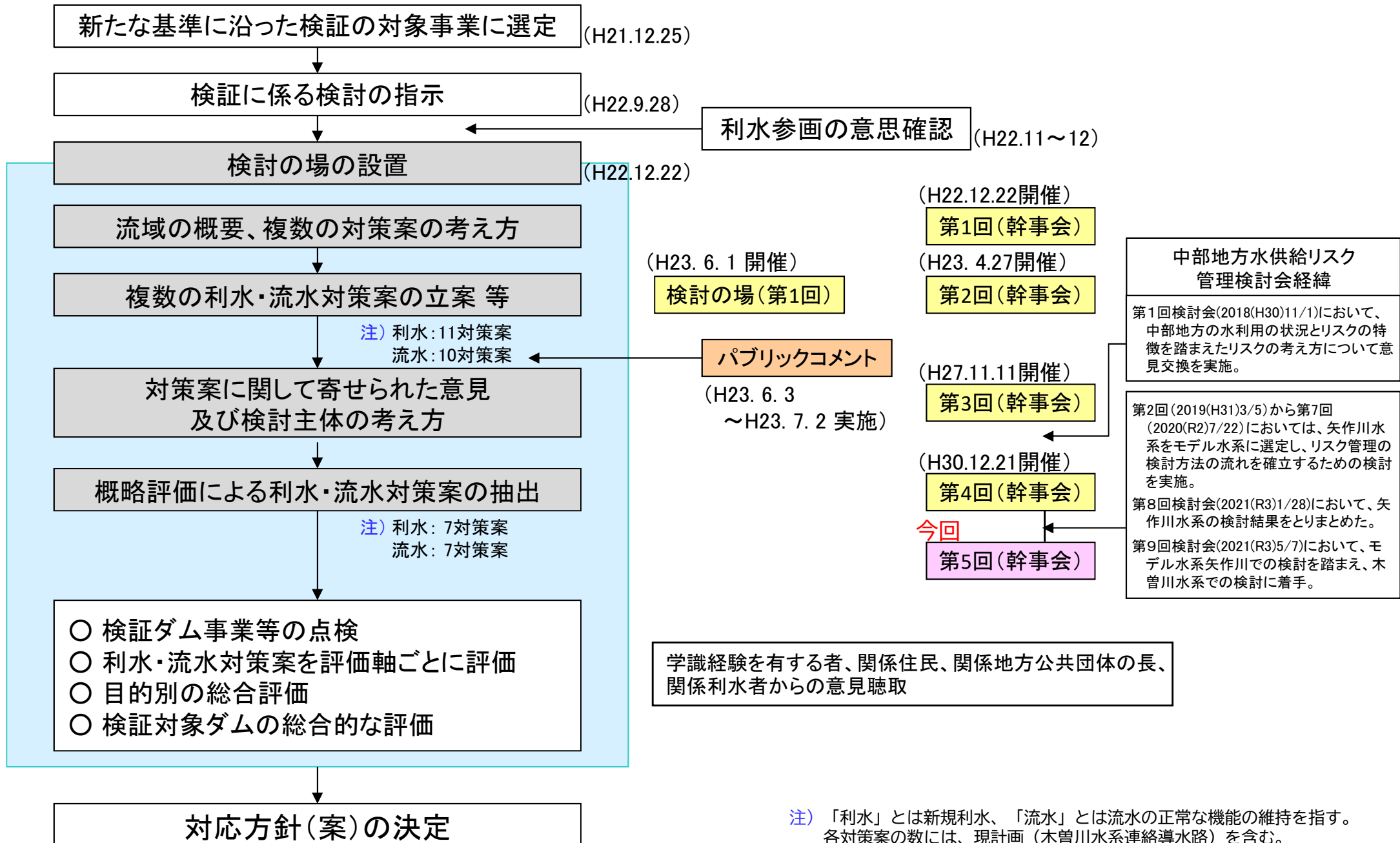


位置図



容量配分図

検証に係る検討の進め方



注) 「利水」とは新規利水、「流水」とは流水の正常な機能の維持を指す。各対策案の数には、現計画(木曾川水系連絡導水路)を含む。